



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

東

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)伊原 英二
 問合せ先責任者 (役職名)取締役現業支援本部長 (氏名)姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,266	△3.7	315	△40.4	330	△36.0	222	△36.6
2019年3月期第2四半期	8,582	△3.8	529	2.9	516	2.0	350	3.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 176百万円(△65.7%) 2019年3月期第2四半期 514百万円(61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	45 59	—
2019年3月期第2四半期	71 95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,811	6,504	36.5
2019年3月期	16,829	6,376	37.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,504百万円 2019年3月期 6,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
2020年3月期	—	10 00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	2.6	820	0.8	820	1.1	560	1.4	114 97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	5,155,600株	2019年3月期	5,155,600株
2020年3月期2Q	284,714株	2019年3月期	284,714株
2020年3月期2Q	4,870,886株	2019年3月期2Q	4,870,886株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の長期化が国内経済に与える影響とともに、消費税率の引き上げに伴う消費動向の影響等、依然として景気の先行きは不透明感が増えています。

このような環境の下、当社グループは、中期経営計画2年目の年度方針として「ユーザーインの発想による新たなビジネスモデルの構築」を掲げ、自社開発商品の拡販を主に売上高の増嵩と収益力の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、82億66百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は3億15百万円(前年同期比40.4%減)、経常利益は3億30百万円(前年同期比36.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億22百万円(前年同期比36.6%減)となりました。

当社グループの報告セグメントの第2四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「ディスカウント事業」としていた報告セグメントの名称を「店舗販売事業」に変更しております。当該変更は名称のみの変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、販売促進策として、新元号キャンペーンに続き、WEBを中心とした夏物クリアランスならびに靴まつり等のキャンペーンを各月実施した他、無料設置のカタログを前年同期比30%増の120万部配布し、新規・既存顧客の受注拡大に取り組みました。また、靴を主体に新商品の投入を増加するなど商品力の強化に取り組んだ結果、7月の長雨低気温による夏物商材の受注減を8月・9月でカバーし、第2四半期の受注件数・金額は前年同期を上回りましたが、第1四半期の受注減を補うまでには至りませんでした。

この結果、売上高は41億86百万円(前年同期比2.5%減)となりました。利益面は、配送費高騰の影響を主因として販管費率が上昇し、セグメント利益は4億26百万円(前年同期比28.4%減)となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、市場拡大トレンドにあるスニーカーの品ぞろえ拡充を軸にした靴の販売強化と、青果大市の開催・地場野菜農家との連携など地域密着の運営による集客拡充に取り組みました。また、自社開発商品の販売拡大と当社の認知度向上を目的として、外部催事を28回・延べ244日開催いたしました。しかしながら、7月の長雨低気温により、飲料・衣料・サンダルを始めとした夏物商材販売の不振の他、主力のスニーカーや今季人気のスポーツサンダル等について、大幅な売上増を確保できず、他のカテゴリーの減収を補うまでには至りませんでした。

この結果、売上高は38億72百万円(前年同期比4.0%減)となりました。利益面は、減収に加え自社開発商品の売上構成比の低下による売上総利益率の低下を主因に、セグメント利益は76百万円(前年同期比23.2%減)となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、第2四半期は前年同期並みの売上高を確保しました。第2四半期連結累計期間では、靴・衣料専門店・ワークショップ向けの「大卸し」および新規取引先向けの売上は前年同期を上回りましたが、大口取引先の販売が伸び悩み、売上高は2億7百万円(前年同期比18.7%減)、セグメント利益は14百万円(前年同期比57.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ10億78百万円増加し、116億64百万円となりました。これは、現金及び預金が12億45百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、61億47百万円となりました。これは、建物及び構築物が92百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ9億82百万円増加し、178億11百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ50百万円増加し、44億75百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が1億32百万円増加し、買掛金が1億11百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億4百万円増加し、68億32百万円となりました。これは、長期借入金が8億31百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億54百万円増加し、113億7百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加し、65億4百万円となりました。これは、利益剰余金が1億73百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント減少し、36.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ10億44百万円増加し、32億48百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億92百万円(前年同四半期は2億99百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億30百万円の計上、減価償却費1億47百万円の計上、仕入債務の減少額1億10百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億31百万円(前年同四半期は11億6百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出4億円、定期預金の払戻による収入3億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、8億87百万円(前年同四半期は5億84百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入22億50百万円、長期借入金の返済による支出12億86百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2019年5月10日の決算短信にて発表しました2020年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において2020年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,939,393	7,184,890
受取手形及び売掛金	1,053,215	1,051,366
商品	3,292,763	3,355,503
未着商品	67,742	32,264
貯蔵品	13,640	15,172
その他	235,782	43,191
貸倒引当金	△16,443	△17,496
流動資産合計	10,586,094	11,664,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,540,037	2,447,137
土地	3,157,566	3,157,566
その他（純額）	167,632	171,911
有形固定資産合計	5,865,236	5,776,615
無形固定資産	126,800	112,780
投資その他の資産	251,370	257,626
固定資産合計	6,243,408	6,147,022
資産合計	16,829,502	17,811,915
負債の部		
流動負債		
買掛金	905,943	794,448
1年内返済予定の長期借入金	2,323,514	2,455,745
未払法人税等	94,267	121,892
賞与引当金	117,904	128,529
役員賞与引当金	-	6,500
ポイント引当金	32,024	32,117
その他	951,320	935,979
流動負債合計	4,424,974	4,475,211
固定負債		
長期借入金	5,720,036	6,551,170
環境対策引当金	13,568	4,131
退職給付に係る負債	163,842	161,212
資産除去債務	33,233	33,534
その他	97,101	82,064
固定負債合計	6,027,781	6,832,112
負債合計	10,452,755	11,307,324

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,874,240	5,047,593
自己株式	△151,110	△151,110
株主資本合計	6,322,571	6,495,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,277	441
繰延ヘッジ損益	29,673	△9,875
為替換算調整勘定	18,223	18,099
その他の包括利益累計額合計	54,174	8,666
純資産合計	6,376,746	6,504,591
負債純資産合計	16,829,502	17,811,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,582,024	8,266,522
売上原価	4,675,790	4,547,205
売上総利益	3,906,233	3,719,317
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,044,793	1,062,082
貸倒引当金繰入額	6,562	8,211
ポイント引当金繰入額	27,422	24,981
給料手当及び賞与	839,264	831,697
賞与引当金繰入額	133,118	128,529
その他	1,325,395	1,348,350
販売費及び一般管理費合計	3,376,557	3,403,852
営業利益	529,676	315,464
営業外収益		
受取利息	2,758	3,062
受取配当金	1,456	1,708
デリバティブ評価益	15,007	15,588
受取補償金	16,042	11,325
その他	11,466	20,794
営業外収益合計	46,730	52,480
営業外費用		
支払利息	40,663	36,139
為替差損	19,517	59
その他	80	1,485
営業外費用合計	60,262	37,684
経常利益	516,144	330,260
税金等調整前四半期純利益	516,144	330,260
法人税、住民税及び事業税	155,715	104,894
法人税等調整額	9,946	3,304
法人税等合計	165,662	108,198
四半期純利益	350,482	222,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,482	222,062

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	350,482	222,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,685	△5,835
繰延ヘッジ損益	159,002	△39,548
為替換算調整勘定	△408	△124
その他の包括利益合計	164,279	△45,508
四半期包括利益	514,761	176,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	514,761	176,553
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	516,144	330,260
減価償却費	149,923	147,281
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,910	1,053
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,689	10,625
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,726	6,500
ポイント引当金の増減額(△は減少)	36	92
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,821	△2,630
環境対策引当金の増減額(△は減少)	-	△9,436
受取利息及び受取配当金	△4,214	△4,771
支払利息	40,663	36,139
為替差損益(△は益)	△446	2,894
売上債権の増減額(△は増加)	168,885	1,556
たな卸資産の増減額(△は増加)	△174,249	△28,794
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,916	△110,392
その他	△160,536	18,637
小計	535,617	399,016
利息及び配当金の受取額	5,049	5,645
利息の支払額	△40,540	△36,258
法人税等の支払額	△200,208	△76,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	299,917	292,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,400,600	△400,600
定期預金の払戻による収入	1,300,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△2,586	△29,890
無形固定資産の取得による支出	△2,815	-
投資有価証券の取得による支出	△248	△300
その他	△119	△369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,106,369	△131,160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,900,000	2,250,000
長期借入金の返済による支出	△1,234,037	△1,286,635
配当金の支払額	△48,733	△48,690
その他	△32,826	△27,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	584,402	887,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	△261	△3,659
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△222,310	1,044,897
現金及び現金同等物の期首残高	2,586,099	2,203,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,363,789	3,248,790

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,293,763	4,032,845	255,415	8,582,024	—	8,582,024
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,293,763	4,032,845	255,415	8,582,024	—	8,582,024
セグメント利益	595,894	99,231	34,203	729,329	△199,653	529,676

(注) 1 セグメント利益の調整額△199,653千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,186,414	3,872,532	207,575	8,266,522	—	8,266,522
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,186,414	3,872,532	207,575	8,266,522	—	8,266,522
セグメント利益	426,870	76,217	14,482	517,571	△202,106	315,464

(注) 1 セグメント利益の調整額△202,106千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「ディスカウント事業」としていた報告セグメントの名称を「店舗販売事業」に変更しております。当該変更は名称のみの変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で表示しております。